

報告書抄録

ふりがな	
書名	
副書名	
巻次	
シリーズ名	京都府遺跡調査報告集
シリーズ番号	第154冊
編著者名	
編集機関	公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター
所在地	〒617-0002 京都府向日市寺戸町南垣内40番の3 Tel. 075(933) 3877
発行年月日	西暦2013年3月31日

ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° ' "	° ' "		m ²	
みのやまはいじだい ろくじ・みのやまは いじかそういせきだ いくじ 美濃山廃寺第6 次・美濃山廃寺下 層遺跡第9次	やわたしみのや まふるでら 八幡市美濃山古 寺22番地ほか	26210	44	34° 50' 44"	135° 43' 15"	20110421 ～ 20120203	8,680	道路建設
みのやまはいじだい ななじ・みのやまは いじかそういせきだ いじゅうじ 美濃山廃寺第7 次・美濃山廃寺下 層遺跡第10次	やわたしみのや まふるでら 八幡市美濃山古 寺4-1・26ほか	26210	44	34° 50' 44"	135° 43' 15"	20111003 ～ 20120302	3,800	造成工事

備考：北緯・東経の値は世界測地系に基づく。

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
美濃山廃寺第6次・美濃山廃寺下層遺跡第9次	寺院	奈良	溝・土坑・掘立柱建物・掘立柱塀・鍛冶炉・銅溶解炉・炭窯・瓦窯	瓦・土師器・須恵器・土製品・鉄製品・銅製品・鉾滓	美濃山廃寺の造営、整備に係る瓦窯や鉄器・青銅器生産関連遺構などを検出。小塔供養にともなう覆鉢形土製品やひさご形土製品が出土。
	集落	弥生	竪穴建物	弥生土器	
美濃山廃寺第7次・美濃山廃寺下層遺跡第10次	寺院	奈良	溝・土坑・礎石掘立柱併用建物・掘立柱建物・掘立柱塀	瓦・土師器・須恵器・土製品・鉄製品・銅製品・鉾滓	美濃山廃寺の中心的施設と考えられる礎石・掘立柱建物を検出。
	集落	弥生	竪穴建物	弥生土器	

所収遺跡名	要 約
美濃山廃寺第6次・美濃山廃寺下層遺跡第9次	美濃山廃寺推定寺域の北東部から南部にかけての範囲を対象として調査をし、その結果、掘立柱建物7棟、掘立柱塀3条、溝、土坑、柱穴、鉄器生産関連遺構群、青銅器生産関連遺構である溶解炉1基、瓦窯1基などを検出した。 A地区北部では寺域の区画溝や建物などを検出し、多数の遺物が出土した。出土土器群は美濃山廃寺の年代を奈良時代であることを示している。鉄器生産関連遺構群として鍛冶炉や鉄滓が出土した土坑、炭窯などを検出した。寺院創建期に位置づけられる。B地区では、瓦窯、瓦溜り、瓦集中箇所、土坑などのほか青銅器生産関連遺構と考えられる溶解炉を検出した。瓦窯は遺存状況は良くなかったものの、出土遺物の内容等から創建時の瓦類を生産していた可能性が高い。また、B地区では建物遺構を確認することはできなかったが、瓦溜りや瓦集中箇所から美濃山廃寺の創建時の軒瓦が多量に出土しており、美濃山廃寺創建時の建物が存在したと判断される。また、美濃山廃寺を特色づける遺物である覆鉢形土製品・ひさご形土製品は、奈良時代後半期の百万塔に代表される小塔供養に先行して行われた小塔供養である可能性が高い。 美濃山廃寺下層遺跡に関する遺構として、弥生時代後期の竪穴建物を2棟検出した。調査地の広い範囲から弥生土器が出土していることや周辺の調査地で多数の竪穴建物が検出されていることから、当遺跡が、弥生時代後期の大規模な高地性集落であったことが明らかになった。
美濃山廃寺第7次・美濃山廃寺下層遺跡第10次	美濃山廃寺の推定寺域の北部から南西部にかけての範囲を対象として調査した結果、礎石・掘立柱併用建物1棟、掘立柱建物19棟、掘立柱塀7条、土坑10基以上、溝7条以上、瓦溜り2か所、柱穴500基以上を検出した。礎石・掘立柱併用建物は、調査地の南部で検出した礎石立ち柱と掘立柱立ち柱を交互に使用する特異な形態の建物である。これよりも北側で検出した多数の掘立柱建物群は、倉庫や寺院の運営に関わる建物と考えられ、僧侶等の生活空間である可能性が高い。これらの建物群については、建物の方位や出土遺物などから4期6区分の変遷を示し、寺院の創建から整備、その後の拡充、そして衰退、廃絶に至る過程を明らかにすることができた。また、出土遺物等から、第6次調査地B地区から第7次調査地南部にかけての範囲に「仏地」を、第7次調査地中央部から北部、第6次調査地北部にかけての範囲に「僧地」をそれぞれ想定した。今回の調査では、美濃山廃寺の全容を明らかにするとともに、古代寺院の景観についての調査成果を得ることができた。 美濃山廃寺下層遺跡では、調査地の北半部を中心に竪穴建物12棟、溝1条、土坑3基などを検出した。出土土器から弥生時代後期を通じて営まれた高地性集落であることが明らかになった。